

令和4年度淀川区区政会議第2回コミュニティ力向上部会議事要旨

日 時：令和5年2月7日（火） 午後6時29分～午後7時54分

場 所：淀川区役所 5階 会議室

出席者：

- ・ 委員7名（9名中）
浅井委員、大西委員、大屋委員、中井委員、西岡委員、水本委員、山本委員
- ・ 区役所
田口政策企画課長、畑中総務課長、山田市民協働課長、山崎市民協働課長代理、大橋政策企画課長代理ほか

内 容：

1. 開 会
2. 政策企画課長あいさつ
3. 議 題
 - (1) 企業・学校・NPO等との連携について
 - (2) 区政会議の運営について
 - (3) 令和4年11月の区政会議全体会議におけるご意見への対応方針について
4. その他

資 料：

【当日配付資料】

- ・ 次第、配付資料一覧
- ・ 区政会議部会名簿、座席表
- ・ ご意見票
- ・ よどマガ2月号

【事前配付資料】

- ・ (資料1) 令和4年度第2回コミュニティ力向上部会
ご意見をうかがいたい内容
- ・ (資料2) 区政会議におけるご意見への対応方針

1. 開 会

2. 政策企画課長あいさつ

3. 議題

(1) 企業・学校・NPO等との連携について

○区政会議委員の皆様にご意見をうかがいたい内容「企業・学校・NPO等との連携について」区役所より説明

- ・まずは流入、淀川区に入ってきてもらうことを最優先して考えて、その後に、淀川区に長く住んでもらうのであれば、担い手としてどういう取組ができるかというのを考えるのがベターなのかなと感じました。(大西委員)
- ・企業に働いている方個人でその地域に貢献していただくというのは、かなり難しいかと思います。企業、法人そのものをお願いして行って、動いていただくという形でないとなかなか難しい。

木川南連合という形ではなく、一町会という形でいろいろ試行錯誤して、NPOの方に協力いただき、11月に十三アートフェアを公民館でやりました。1週間で他の地域からも含めて多分100人を超えるぐらいの方に来ていただいて、やってよかったなと思いました。(中井委員)

- ・この資料を頂いてからずっと考えていましたが、なかなかいい案がなくて。地域活動の担い手というのが、企業に限らず我々の次の世代にどうやってつなげていくかということから全然解決しない問題なので、それをまた企業までどうやって持っていくとなると、なかなか今、自分の中では考えが出てこない状態です。(西岡委員)
- ・これから大事にしていかないといけないと思うのが、西中島は専門学校が多く、何か行事をやるときは、専門学校の子どもたちにお手伝いをしてもらっています。なかなか難しいところもありますが、そういう場をもう少し何かの形で広げていくとかできたらいいなと思います。(水本委員)

⇒うちの地域でもハロウィン等のときに、デザインとか美術系の学校をお願いして、顔のペイントをお願いしたりとか、そういうつながりはあるのですが、そのときだけで、それ以外の地域活動に対してつながっていきません。(山本委員)

⇒専門学校の方もものすごく協力的で何でも言ってくださいよとおっしゃっていただいたので、何とか、そういうことをもうちょっとやっていきたいと思っています。(水本委員)

- ・盆踊りを三国本町公園の中でやるときに、よく企業からの寄附をいただいて、寄附の名前を貼り出してはいますが、そのときだけの付き合いという感じがいつもしています。企業のどなたでもいいですから一緒に踊っていただけたらなと思うのですが、宮原地区以外の方がよく踊りに来ているという

ことも聞きますので。

他から定住していただきたいということであれば、私いつも思うのが、自転車のマナーがものすごく悪いです。あるとき、学校の先生と思われる方が、ぼっと歩道の上走ってきて、その後ろをおそらくスポーツ関係のクラブの人がびたっと追いかけていく感じで来たのですが、危険極まりなかったので、小学校、中学校を対象にして徹底的に自転車の講習をしてほしいです。逆走や夜間の無灯火とか、並走しておしゃべりしながら走るというのがあまりにも多いので、住みやすい街にしようと思うと、そういう基本的なところを教育していくのが大事かなと思います。(浅井委員)

・地域活動にもこの頃若い方、40代、50代の方が結構多く参加してくださっているのですが、やはりお勤め優先ですので、夜しか出られない、出張が多いので夜の会合も出られないときもあるということなので難しいところもあるんです。でも担い手ということになると参加していただかないと、若い方に後バトンタッチをするタイミングが難しいので、協力はなかなかしてはいただけない部分もあるのですが、お休みの日や夜は出られますよと言っていたいて、増えてきているのはありがたく思っています。(大屋委員)

・いろいろな企業との連携ということで、防災面等、1つテーマを決めて企業連携というのは少しずつはしているんですけども、何かイベントとか、地域の担い手の育成とか、何かあったときにみんなで一緒にやりましょうというところまで行っていないところもありましたので、実際地域でやられていることがあれば参考にさせていただけたらと思っています。(山田市民協働課長)

⇒加島地域の企業に対しては協力してくださいとか、いろんなイベント参加してくださいというのは、もう区役所がやる前からやっています。それ以上のことを何かやってくれているんですか。(西岡委員)

⇒企業さんほうから、加島に限らず淀川区全体にという興味があったりすると、全地域に話しするよりも区役所が一旦受けまして。

実際、三津屋地域の鍵のメーカーのGOALさんが今年度協定を始めまして、こども110番とか見守りのところで協力をいただいています。(山田市民協働課長)

⇒ある会社はCSRで毎朝周辺の掃除をしています。例えば、そういう会社さんと地域の方が一緒に掃除・ごみ拾いをするとか、お互いの利害が一致するので、そういうわけですね。向こうはCSRとしてやっているわけですからね。環境だけに限らず、会社が掲げているCSRを見つけていったら、広がるのでは。(大西委員)

⇒企業の消防訓練に地域の方を呼んで見学させてくださるというのがありま

す。化学工場なので、周辺住民に安全面のPRも兼ねてということもあると思います。(大屋委員)

(2) 区政会議の運営について

○区政会議委員の皆様にご意見をうかがいたい内容「区政会議の運営について」
区役所より説明

・以前に事務局に、全体会議は委員全員が出席しないといけないのかを聞きましたが、規約がそうなっているから変えられませんという話でした。あれだけたくさんいても、あまり意味がないのではないかと思います。年度初めは全員参加をしたらいいと思いますが、次以降は部会から例えば2名選出して全体会議に出てもらう方がもっと活発に意見が出るのではないかと思います。(西岡委員)

⇒私たちはコミュニティ力向上部会のことしか分からないけども、全体会議に出ると、他の部会が議論した内容がわかって、勉強になるので私はいいいと思います。(水本委員)

⇒大阪市で、条例等で決めている部分がありまして、どうしてもそこに従わざるを得ないという部分もあります。(田口政策企画課長)

・時間は、最初は結構長い時間でしたが、今ぐらいの1時間半ぐらいの時間の方がいいと思います。(西岡委員)

・分からないとか、こういうのはできるわけがない等の後ろ向きな意見が少し多く、そういう意見ではなくて、どうしたらよくなるかというのを話し合う場だと思っているので、建設的な意見を出さないと、まとまらないのかなと感じました。(大西委員)

・議事録は、いつも全部が載ったものを大量にもらいますが全部読まないし、要点だけもらえたら、その方が頭に入るのでありがたいです。(西岡委員)

・区政会議で意見を出すのであれば、もっと自分が勉強しないといけないが、自分1人ではなかなか勉強ができないので、勉強会が必要なのではないのかと考えています。(大屋委員)

・部会は、ある課題をみんなで意見出し合って、その次にまた集約して、最後に何となくこの部会での結論を出すみたいな会議かなと思っていました。(山本委員)

・地域で抱えている課題としては、おそらく箇条書であげたら、どの地域も同じものになってくると思います。担い手不足、少子化の問題、子ども会に入らないという問題があります。(山本委員)

(3) 令和4年11月の区政会議全体会議におけるご意見への対応方針について

- ・(資料2)のNo.3について、公園を除草してきれいにしていたら子どもが遊べるし、そういう足元からきれいにしていくことがいいと思うだけです。新大阪がきれいになったらいいとかではなくて、本当に住民が生活しやすい環境づくりさえ先にやってくれたら、絶対に定住して、みんな集まってくると思っています。(西岡委員)
 - ・(資料2)のNo.10について、避難場所の案内表示は本当に分かりにくくて、町会にも、電信柱の矢印表示がおかしいのではないかという意見は住民からよく聞きます。大きな道路に出るための方向を指しているものがあるというものは、やはり分かりづらいと思います。(大屋委員)
- ⇒〇〇小学校に行くための大きな通りへの方向を示しているものがありますが、それが分かるように元を変えるとなると結構費用がかかりますので、そこに追加で表示し分かりやすいようにして、その方向は、あくまでも広い通りに出るためのものと、本当に〇〇小学校に行くものに分けて区も管理して、定期的に剥がされてないかも含めてチェックをしていかないといけないとわかりました。(山田市民協働課長)